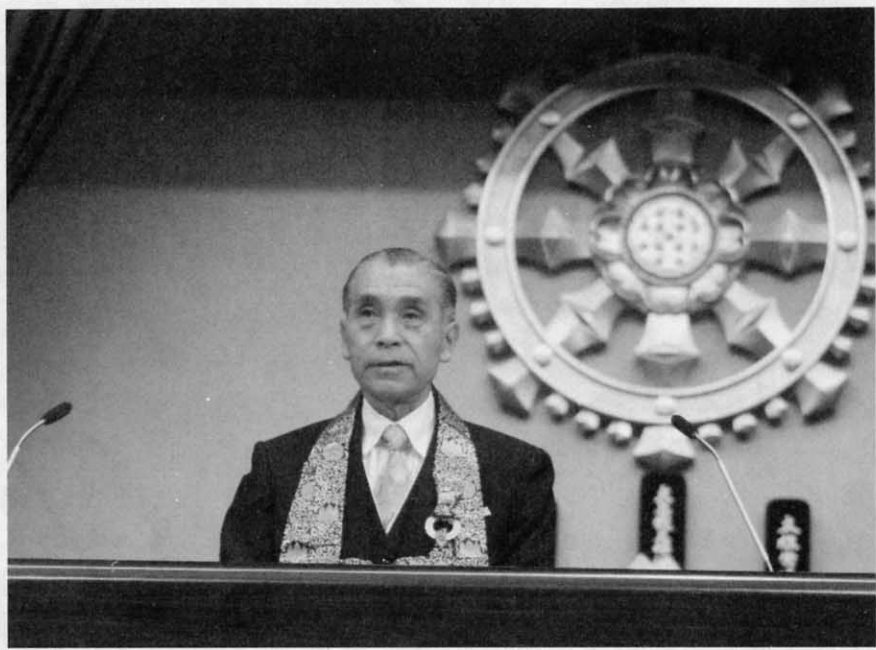




平成17年度
学位記授与式

「社会に役立つ志を持って」

学 院 長 小 出 忠 孝

平成十七年度愛知学院大学卒業生諸君、卒業おめでとう。本学を代表して心よりお祝い申し上げます。諸君の胸の中には四年間の雪の功成り、学位記を手にした喜びと共に、これから始まる新しい人生に対する希望に満ち溢れていることと思います。

学院大卒の誇りを、新しい人生の門出にあたり、諸君に先ず学院大卒の誇りをもって頂きたい。諸君が学んだ愛知学院は三〇年の歴史と伝統を持ち、現在八学部一五学科、大学院七研究科に学生一万二千名を擁する、中部地区で最大級の規模と内容を持つ私立の総合大学です。諸

君はこの様な名門学院大で、優秀な先生に恵まれ学業を修め、また多くの先輩後輩に囲まれ人間形成に努める事が出来ました。また諸君には社会の各界でさまざまな活躍を遂げている約一〇万名の先輩がいますが、すべて本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」の教育理念のもとで、誇り高く育った学院生です。この建学の精神は宗祖道元禅師の教えであり、人間として正しく生きて行く上で、最も大切な基本的精神です。本学で学んだ諸君は、一生この建学の精神を座右の銘として堅持し、社会で活躍して頂きたい。

景気は本格回復

諸君が明日から門出する社会は、廿一世紀六年目を迎える政治・経済はじめ、すべての面で新しい時代の訪れが期待されています。わが国では経済が、十年余り続いた長期不況のトンネルを抜け出し、輸出や設備投資の回復に加え、個人消費の増加で持続的な景気拡大へと歩みを進めつつあります。

内閣府の発表による〇五年の実質国内総生産GDPは年率五・五%増と高い伸び率を示し、米国には及ばないものの、欧州先進諸国の伸びを上

日本私学事業団理事に 小出学長再々任される

先日日本私立学校振興・共済事業団の役員改選で、事業団理事に小出学長は私立大代表として再任された。私立大の教育研究充実のための私学助成事業と、全私学教職員に短期・長期給付制度を含む共済事業は、私学発展のため責任極めて重大であり学長の活躍が期待される。回っています。この景気拡大が十一月迄続くと、戦後最長の「いざなぎ景気」を抜くと予測され、景気が本格回復していると判断しています。これらの景気回復を証する様に、先日発表された有効求人倍率は一・〇倍と、バブル崩壊以来二三年ぶりに回復し、特に愛知県は一・六倍と全国トップであり、企業的好調な業績を反映し、求人意欲が好転している事を示しています。さらに来年からは団塊の世代の退職期を迎え、各企業では大量の優秀な新人を求めている。諸君達に対する期待は極めて大であります。

この様な前途明るい社会に於て先月発生した「ライブドア事件」は、卒業生諸君に大きな警告を投じています。十年前一東大生がIT関連会社を設立、以来株式分割や企業の合併・買収を繰返し、十年後には時価総額一兆円を誇るライブドアへと急成長、さらにプロ野球団の買収劇やテレビ会社株の大量買収、そして衆院選挙出馬と、旧弊の壁に風穴をあける改革の旗手、時代の窮兇と騒がれたライブドア前社長でしたが、一転証券取引法違反の疑いで逮捕され、大きな衝撃を与えました。

「人の心は金で買える」と豪語し、「この世は金がすべてである」との拝金主義が、法の抜け穴を利用し、さらには違法の抜け道まで駆使して、短期内に巨額の金を生み出す事のみ目指してきた。しかし、

高い倫理観と順法精神

「倫理なき自由経済は破滅に向かう」と警告される様に、社会のリーダーは高い倫理観と順法精神を堅持し、社会から信頼される様に努める責務があります。常に社会の為になっているか、社会に害を与えてはいないかを自省し、社会の役に立つという明確な志を持って行動する事が肝要です。この世は金がすべてでは有りません。一獲千金の夢は止め、モラルを高め、法を守り、額に汗して一歩一歩着実に努力する人生を送られる事を切望するものです。

株価至上主義に警鐘

わが国は第二次大戦の廃墟より立ち上り、先人の努力により今日の経済大国を築き上げてきました。わが国が現在の繁栄を維持出来るかどうかは、次の世代を担う若い諸君の双肩にかかっています。幸いに諸君にはそれが出来る若さと本学で学んだ実力があり、諸君の活躍に大きな期待がかけられています。しかしこれらの諸君を取り巻く環境は容易な道ばかりでなく、厳しいものもあると覚悟しなければなりません。長い人生で順調な時にも決して奢ることなく、また逆に不遇な時にも決して挫ける事なく、何時も社会に役立つ志を堅持し、努力精進される事を切望します。

人生目標を しっかりと

大学後援会会長
水谷 鉦 治



多くの思い出を残して愛知学院大学を卒業し社会に旅立つ皆さんと、学生生活を支え励ましてこられたご父母の皆さんに心よりお祝い申し上げます。又、本日までお世話いただきました教職員各位に、後援会を代表して心から厚く御礼申し上げます。さて、皆さんは希望に満ちて愛知学院大学に入学され、

すばらしい先生方のもとで学ばれ、また多くの友人にも巡り会えた事でしょう。楽しかった事、辛かった事を思い浮かべ、卒業にあたり感慨深いものがあるかと思えます。卒業は終わりはありませぬ。新しい人生の幕開けです。これからは社会人として、厳しい現実が待ち構えています。が、若さと情熱を持って、自らの人生を切り開かねばなりません。その為には人生の目標をしっかりと立てて下さい。さらに自己啓発を怠ることなく、生涯学習の気持ちで忘れず絶えず己を磨き努力して下さい。また謙虚な生き方を心掛けて下さい。

いま日本経済は回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況下にあるのが現実です。また、社会も大きく変化し、あらゆる分野でグローバル化が進み、ものの価値観も多様化し、習慣等も変化してきている。若者の間では起業家意識が高まり、積極的な行動は大切なものという限りであり、その一方、六十八万人といわれるニート族、あるいは手法を問わない勝ち組、行き過ぎた市場原理主義・金儲け主義に走る若者には一考させられるものがあります。いつの時代でも世の中は人と人のつながりで成り立っています。自分は常に誰かに助けられて生きている事を思い感謝の気持ちを持つ事が大事ではないでしょうか。本学は開学以来、「行学一体」「報恩感謝」を建学の精神として人格形成に力を入れており、在学中に知らず知らずのうちに人間性も身についた事でしょう。これからも建学の精神を座右の銘とし愛知学院大学の卒業生としての誇りと自信を持って、社会で活躍されるよう期待し、皆さんの人生が実り多く豊かなものになるよう願っています。

新たな旅

文学部同窓会会長
大 藤 元 裕



ご卒業おめでとうございませぬ。皆さんを今日まで暖かく見守ってこられたご父母の喜びもひとしおだと思います。重ねてお祝い申し上げます。また、ご父母の皆様には、大学同窓会活動についても、深

いご理解とご協力を賜りましたこと、大学同窓会を代表して厚く御礼申し上げます。同窓会は昭和32年に商学部の一周年により創設以来、文学部・心身科学部・経営学部・法学部・情報社会政策学部・歯学部・薬学部の8学部15学科を数え平成19年度には、文学部に新しい学科も申請中です。ますます母校が中部地区でも有数の総合大学となるに併せ、この間の同窓生は9万6千余名となっております。また先輩の同窓生は海外・国内のあらゆる場所・分野で幅広く活躍しています。よき相談相手、またよき友として皆さんの未来に手助けをしていくれることと思います。

さて、明日から社会に旅立ち、社会人になれる卒業生の皆さん、社会は日々立ち止まることなく常に前進していきます。その社会に乗り遅れることなく母校愛知学院大学の建学の精神「業学一体・報恩感謝」をよく理解し実践して社会に旅立つて下さい。昨年は、中部国際空港が開港され、愛知万博の開催もありました。その国際観と環境への思いを追求していく年となります。皆さんの若い柔軟な発想と心豊かな感性を持って、自覚と責任ある行動で決して自分自身を見失うことなく勝ち抜いていただきたいと思えます。どの道に進もうが、きっと明るい未来だと確信しています。愛知学院大学の卒業生という誇りを持って、健康に留意され、立派な社会人となられますよう期待いたします。お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業生へ贈る言葉

無事に四年間の学生生活を終えられ、めでたく学窓を巣立っていかれます卒業生の皆様、栄えある門出を衷心よりお慶び申し上げます。

今までは、ご両親をはじめご家族の経済的支援に支えられた学生生活でありました。

これからは、皆様が自立の道歩んでいかなくてはなりません。まさに人生のスタートに立たれたということが出来ます。

卒業生の皆さん、本学の栄えある卒業を心からお祝い申し上げます。「卒業」とは英語で graduation ですが、commencement ともいいます。前者は単に大学卒業を意味しますが、

後者は卒業に加え、新たな出発を意味します。皆さんは今、まさに新たな出発点に立っています。しかもそれは激動する社会への出発点です。

社会、とりわけビジネス社会は、皆さんが想像していた以上に、皆さんは今、

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

今、世間を騒がせている問題が色々あります。ライブドアに代表される企業買収とそれに伴う粉飾マ

ネーゲーム事件、マンション、ホテルの構造偽装事件などは皆さんが将来なん

らかの形で関わりをもつかも知れない業種、業界に関係しているかもしれないかもしれません。どうしてこんな問題が起きてきているのでしょうか。ライブドアに象徴されるような実



今日まで学問を通して、人生で最も大切なことを学ばれたことと存じます。これからは、その学ばれたことを社会の中で十分に実践して頂きたいと切望します。

努力した者にのみ報われる人生

文学部長 大野 栄人

ております。

若者に絶大な人気であったライブドアのホリエモンこと堀江貴文社長が、証券取引法違反・粉飾決算・大幅な株式分割等の

日々着実に努力したことしか、決して報われないということを、どうか肝に命じて頂きたいと存じます。

無常な世の中を生きておりま

に厳しく、アルバイトや就職活動で得た経験がほとんど役立たないかもしれない。しかし本学で学んだ知識を総合し、知恵に変えることができれば、何も

共生の心を育み、人間的価値(ヒューマンバリュー)を高めることを目的としてきました。そのような教育を受けた皆さんは、今こそ自分を信じて前に進んで下さい。

「不進即退」、自分を信じて前に進もう

商学部長 田畑 康人

恐れることはありません。

社会も企業も20世紀後半の経済成長やそれに引き続く長期不況から抜け出すために、大きな転換をしてきました。そして21

愛知学院は「行学一体、報恩感謝」を建学の精神に据え、人間形成を図ってきました。加えて、商学部では自然や世界との

つまり、「進まないことは、退くことと同じ」なのです。未来に向って前へ！

体を伴わない株価総額のみ成長、拡大至上戦略のみが優先されれば、必ず行き着く先は明らかではありません。

これらの問題に共通するものがあるに基き、経営の大切さが浸透し

(corporate social responsibility) に基き、経営の大切さが浸透し

の頭で考えて、自分の目でたしかめてから自らのポリシーに従ってもの作りに励まば本田宗一郎さんのような

自らポリシーを持って進もう

経営学部長 芝 隆史

とすれば利益至上主義、儲かることならなんでも許される発想といえるのではないのでしょうか。長期利潤の追求、持続的維持、拡大などが叫ばれて久しいわけですが、現

始めていという事実もあります。どうすることが社会にとって、また人類にとってよいことなのか、なにを社会は望んでいるのか、すべて

今なお認められる人生を送れるのだと信じて、今日からの社会人としての、第一歩を自信を持って踏み出して下さい。皆さんの大いなる飛躍を本望に望んでいます。

『一番大切なもの』

大学に入るまで就職のことなど考えたこともなかった私が、国税専門官試験に合格したのは、長い勉強期間に就職内定を取るために一番大切なものに出会えたからだと思う。

私の就職活動は、三年の春に公務員講座を受講するところから始まった。公務員試験は範囲が広く自力で勉強する自信がなかったため講座を受けていれば大丈夫だと考えたのだ。

今まで大学で勉強したこともない専門科目に悪戦苦闘しながらも、一緒に遊んでいた友人たちよりも先に就職活動のようなことをしているというちょっとした優越感に浸りながら夏ごろまでは順調に進んでいた。しかし、夏休みに入り友人が遊んでいる間も学校に行き勉強しなくてはいけなくなり、次第に勉強が嫌になった。そんな時、合宿があるということでそれに参加することにした。山奥で朝から晩まで勉強をするという合宿だったが、そこで仲良くなった三人とその後一緒に勉強するようになった。彼らと勉強するようになって、毎日朝九時～六時までゼミ室で勉強することが楽しくなった。一緒に勉強することで教えたり教えられたり、先生に相談しに行ったり、たまに就職課に話をしに行ったり、昼寝したり・・・彼らがいたから、周りの友人が内定をもらって喜んでいても、思うように成績が上がらなくて悩んでいるときももっと勉強しようと思えたのだ。その仲間たちの存在が合格するために一番大切なものだったと思う。



経営学部経営学科4年 加藤 大輔

就職体験記

『人との出会いの大切さ』

私は就職活動に取り組む上でとりあえずたくさん人の話を聞く・価値観を知る・考えをいろいろな人にぶつけてみることを大切だと考え、それを、常に自分に反復させ納得のいく答えを見つけて参りました。

そのおかげで私が就職活動で見つけた自己PRでもある親身さが信用金庫の考える方向性と結びつくことに気付き、自分らしい進路に歩むことができた結果として、地元の信金から内定を頂くことができました。

ここまでの道のりを築くには人との出会い・縁なしでは考えられなかったと思います。特にキャリアセンターの皆様には大変お世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。しつこいぐらい毎日通い相談や添削をしてもらいました。時にはキツイことも言われ挫折も味わいました。しかし、それがバネとなり面接での度胸・表現力・文章力のアップにも繋がりました。そして、地元の信用金庫の良さを知る・出会うきっかけになったなど私の金融に対する先入観を取り払い興味を抱かせてくださいました。

今、振り返っても自分自身を大きく成長させる場が就職活動だと思っています。

後輩の方にアドバイスとして『一期一会』『感謝』の2つの言葉を大切にしてくださいと思っています。私も社会人になってもこの2つの言葉を胸に刻んで仕事に取り組んで参りたいです。



商学部商学科4年 山崎 智広

就職体験記

『時間がかかっても諦めず』

私は就職活動を始めた当初、自分のやりたいことがわからず、はっきりとした目標がありませんでした。そのためなかなか思うように進まず、息詰まっていた頃、就職課の方からりそな銀行の学校推薦のお話を頂きました。企業研究をしてみたところ、この企業の方針、環境、発想力など私にとって全てが魅力的でした。それまでに幾つもの企業と出会いましたが、初めて「この企業に入りたい」と強く思える企業に出会いました。すると、毎回苦戦していた志望動機もすらすらと浮かび、面接では自分を飾ることなく、素直に熱意を伝えることができました。初めて面接を楽しみ感じました。

これから就職活動をする皆さんも、最初からやりたいことがはっきりしている人は少ないと思います。しかし時間がかかっても決して諦めず、自分が本当にやりたいと思える仕事、自分が愛せる企業を見つけてください。そして自分を飾らず素直に熱意を伝えることが大切だと思います。

就職活動は人生の中で自分と向き合い、自分を知ることができる数少ないチャンスだと思います。就職活動を終えたとき、とても大きな達成感、充実感を得ることができました。自分自身を成長させ、自信もつけることができました。就職活動での経験は、就職先を決めることができただけでなく、これからの自分にとって大きな財産となりました。



文学部心理学科4年 田子 真未香

短大部卒業生へ

卒業生の諸君、卒業おめでとう。卒業生に贈る言葉の原稿を書いてる今日(二月十五日)は、釈尊の「お涅槃」の日です。釈尊は沙羅双樹の下にあつて、釈尊を依りどころとして、

「自灯明・法灯明」を

いわれたいです。釈尊亡き後は、報われ無き「自分自身」を依りどころとし、正しい仏教の「教法」を依りどころとするようにと示された訳です。



「自灯明・法灯明」で社会に

短大部 人間文化学科長 神戸 信寅

社会の荒波に船出する卒業生に、まっせん。そんな時、執われ無き無の卒業生には、学科の幕を閉じる年度でもあり、感慨深いものがあると思う。しかし、短大部は再構築され発展的に再生し、その精神は宗教学科を始め学院全体に充満していることを、むしろ誇りに思っている。有終の美を飾っていたきたい。

最後に、釈尊の「自灯明・法灯明」が実りあるものと成るには、道元禪師の「自己をなす」と、「万法に証せられて」行くことにあるかと思ひます。

『自分とは何かを知り、社会とは何かを考える』



就職体験記

私が本格的に就職を意識したのは1年生の7月頃でした。前期試験が終わると筆記試験対策の勉強を始め、後期試験が終わると実際に動き始めたと同時に、面接対策などの講習会に多数参加しました。私は英語が生かせるホテルや航空業界を目指していたので、そのような企業と、リクナビなどで少しでも良いと思った企業にはすべてエントリーし、説明会に参加しました。多い日には1日に3社行く日もありました。あまり興味がなくてもいろいろな業種の企業の話を聞くことは、自分の知らない世界が見えたり新たな発見があったりと、とても重要です。

就職は早く決まれば良いというものではありませんが、早くから始めることには大きな意味があります。早く始めることによって、しっかり「自分」を把握することができ、それについての首尾一貫した考えが持て、堂々と社会にアピールすることができます。私は上記のような業界を目指してはいましたが、何よりも働く環境を重視していましたので、そこだけは絶対に妥協しませんでした。みなさんも、ここだけは譲れない!というポイントは絶対に妥協しないで欲しいと思います。会社を選ばれるのではなく、会社を選んで下さい。

まだ将来のことを何も考えてない人は、是非少しでも早く考え始めて下さい。就職活動は人生を決めるものではなく自分の可能性を見出すものだと思います。自分という商品は、社会ではどのように生きるのかを考えてみて欲しいと思います。



佐野 勝次

商学部客員教授



高際 弘夫

商学部客員教授



堀内 照通

情報社会政策学部客員教授



安田 善重

教養部客員教授

昭和39年早稲田大学大学院商学研究科金融論専攻博士課程満期退学後、4月から本学商学部助手として赴任され、翌昭和40年4月専任講師、昭和43年同助教授、昭和53年同教授、昭和58年から昭和62年まで2期に亘り商学部長、昭和62年情報社会政策学部客員教授

昭和35年早稲田大学大学院商学研究科国際経済専攻博士課程満期退学後、同大学研究員を経て、昭和40年本学商学部助教授として赴任され、昭和48年同助教授、昭和56年経営研究所所長、(現産業研究所)平成5年から平成9年まで2期に亘り商学部長、昭和62年情報社会政策学部客員教授

石田光男氏は、平成14年本学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程満期退学。博士論文は、「心理的、生理的ストレス反応に及ぼす認知的対処課程—事象関連電位による注意機能の評価からの接近—」で、従来ストレス刺激に対する認知評価、あるいは認知的・行動的対処の方略は、「ヴィジラント型」対「ノンヴィジラント型」に分類して、ストレス反応に及ぼす違いが検討されてきた。本研究では注意関連電位に着目して、脅威刺激に対する、その個人の認知的対処の型を直接測定したストレス研究の新たな展開に寄与するものと評価できる。

武田公男氏は、平成13年本学大学院経営学研究科博士課程後期満期退学。博士論文は、「企業と中高年齢者雇用」で、企業にとって中高年齢者の人材としての価値は概して低下傾向にあり、職場から排除しようとする動きがみられる。一方、高齢化とともに少子化が進行し、労働人口の構成からすると、将来は中高年齢者の活用が必須となること、年金受給開始年齢の引上げ問題もあって、2006年施行の「高年齢者雇用安定法」は「65歳現役社会」に向けての動きとみることができ、本論文は、こうした中高年齢者雇用問題に主にマネジメントの問題として経営学的な議論が展開されている。

鄭鳳雲氏は、平成13年本学大学院文学研究科宗教学専攻博士課程後期満期退学。博士論文は、「宋代禅宗史の研究」で、宋代初期の禅宗と禅史を研究したもので、禅思想史との中間に位置する論文である。

名誉教授称号授与

和62年情報処理教育センター所長、更に、昭和63年教務部長、平成11年図書館長など要職を歴任された。研究分野は金融論、銀行論を中心に、内外の金融市場ならびに銀行経営、更に金融政策に及んでいく。また、学生の課外活動では、35年間本学サッカー部部長を務められ、日本代表ゴールキーパー松永茂立、ディフェンダー秋田豊など日本を代表する選手を育てられた。

昭和53年高度な英国トウリニティカレッジ国際英語検定試験12級(最高級)に合格、昭和54年同助教授、昭和61年同教授、平成8年国際研究センター所長、平成9年情報社会政策学部に移られ今日に至るまで、本学英語教育に多大な尽力をされた。学外では、日本時事英語学会理事中部支部長、日本英語音声学会副会長、日本実用英語検定協会面接委員をつとめられた。

研究の発展に寄与された。研究領域は、第一は「デフォーを中心としたイギリス18世紀小説」についての研究で、デフォーの作品を通してその人物像や宗教観を論じられ、深い論考を加え、作品の意図と主題を解明して再評価を行われた。2つ目は、英語における「語用論」に関するもので、膨大な資料をもとに進められた研究は、英語の語用・表現に関する基盤を築かれた。

小林隆夫氏は、昭和60年本学大学院文学研究科歴史学専攻博士課程満期退学。博士論文は、「イギリスの東アジア政策と中国・朝鮮の宗属問題」で、19世紀にイギリスがアヘン戦争の勝利を契機にして、中国に通商・貿易

武田公男氏は、平成13年本学大学院経営学研究科博士課程後期満期退学。博士論文は、「企業と中高年齢者雇用」で、企業にとって中高年齢者の人材としての価値は概して低下傾向にあり、職場から排除しようとする動きがみられる。一方、高齢化とともに少子化が進行し、労働人口の構成からすると、将来は中高年齢者の活用が必須となること、年金受給開始年齢の引上げ問題もあって、2006年施行の「高年齢者雇用安定法」は「65歳現役社会」に向けての動きとみることができ、本論文は、こうした中高年齢者雇用問題に主にマネジメントの問題として経営学的な議論が展開されている。

現在の臨済宗の性格的なものを過っていき、宋代に現われており、そこを明らかにしたいという興味が発端となり、語録の発達・文学・三教一致思想の興起・皇帝や士大夫と禅僧との関係・叢林制度の成立と発展に視点を置き、禅宗史という史的な流れ、禅思想の考察、禅宗と社会との関係について禅思想の観点を重視していることである。



金華氏、平成15年3月本



小林隆夫氏



武田公男氏

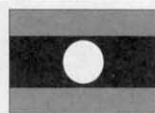


鄭鳳雲氏



厚生省にてポンメック・ダラロイ厚生大臣と小出学長

ラオス国



ソムワート副首相を訪問 小出学長一行

ラオス人民民主共和国と日本との国交樹立50周年を記念して2005年3月1日愛知学院大学楠元キャンパスに我が国初のラオス人民民主共和国名誉総領事館が開設された。昨年は、万国博覧会開催もあり、ソムワート・レンサワット副首相兼外務大臣はじめ同国の大臣、副大臣等同国の政府要人多数が来名した。小出学長は名誉総領事として万博でのラオスデーの対応や本学内にラオス研究所の設立など、精力的に行われ、このたび1月24日から29日まで、名誉総領事として同国の首都ビエンチャン、古都ルアンパンを訪問された。

訪問に際して、特例として、スタック・ポーン・ケオラ駐日特命全権大使が同行され、ソムワート・レンサワット副首相兼外務大臣、ボンメック・ダラロイ厚生大臣をはじめ多くの政府の関係者と面談され、ラオス国と日本、特に中部地方との国際交流親善に尽くされた。

ラオス大学医学部から 小出学長に客員教授の 称号授与

国立ラオス大学は、同国最大、最高位の教育機関であり、現在医学部、教育学部等12の学部、学生数22,624名を有する大学である。その中で医学部は、本学に事務局のある国連認定法人(ロスター)日本口唇口蓋裂協会が1997年より同大学への救助を開始するとともに、2001年より口腔外科分野の寄附講座を開設して同大学の教員、卒業生も含めた質の向上の為にプログラムを実施している。

このたび、小出学長は、ラオス人民民主共和国在名古屋名誉総領事としてラオス大学本部を訪問、サヤマン・ボンサク学長代行より大学証を贈与され、同医学部においてボンサイ・トビスック医学部長より医学部客員教授の称号を授与された。

これに先立ち、同国文部省を訪問され、ボーセンカム・ボンダラ副大臣と同大学と愛知学院大学との学術交流協定について話し合いが行われた。文部省、同大学とも前向きに検討することとなり、3月5日より団長・引田弘道教授、佐藤祐造教授、田畑治教授等ラオス研究所の訪問団が具体的な調整のために同国へ赴き、3月6日に同大学を訪問した。

台師範学院 知学院大学 姉妹校提携調印式



調印式を終え劉建東主任と小出学長

中国、煙台師範学院と 姉妹校提携調印式

1月17日、中国煙台師範学院から、劉建東校務委員会主任をはじめ、杜廷勇国際交流学院副院長、李晨外国語学院日本語学部長の3名が本学日進キャンパスを訪れ、小出学長他各学部長が出席して、両校の姉妹校提携の調印式が執り行われた。

この協定は、日本と中国との友好関係を構築するとともに、両大学間の教育と研究の水準を向上させることにある。学生の語学研修や留学生の交換、学術文献及び図書資料の交換、研究者の共同研究などを今後推進していく。

国際化が進み、大学の国際化が問われるなか、また新しい姉妹校の誕生といえる。煙台学院は、韓国、ロシア、日本などから約230人の留学生を受け入れ、その数は山東省内ではトップクラスといわれており、留学生の交流事業にも大いに期待を寄せている。また、これらに対応するために、本学国際交流センターでは、資質を備えた専門職員を要し、国際交流の企画、立案、調査、留学生のメンタルケアなど積極的に取り組んでいる。

文学講演会と 図書館情報センター見学会

日進市民70人が参加

3月6日、日進キャンパス図書館情報センターにおいて、文学講演会と同センター見学会が開催され、日進市の住民70人が本学を訪れた。

このツアーは、日進市教育委員会生涯学習課主催で開催されたもので、午後1時30分から図書館情報センター館長黒部通善教授による「源氏物語」が面白い一浮舟の出家」と題して文学講演会が行われ、午後3時から同センター職員が、図書の貸出、返却をはじめ、センター利用に関する説明の後、「大学の心臓」といわれる広い最新設備を備えたセンター内を見学した。

平成16年から、日進市をはじめ長久手町および名古屋市長東区の住民に、同センターを開放しており、現在、日進市だけでも128人が利用登録を済ませセンターを活用している。生涯学習の普及に伴い、地域住民の方が学習の機会と場を大学に求める数は増加の一途をたどっており、本学では、こうした生涯学習意欲の高まりに対応するため、図書館情報センターの開放をはじめ、地域との各種交流事業を積極的に推進している。

煙台師範学院 中国山東省

煙台師範学院は山東省人民政府が主管する大学で、国家教育委員会が最初に公布した学士と修士を取得することができ、外国人留学生を受け入れることのできる大学の一つです。

黄海に面した煙台市に位置し、山と海に抱かれ、静かで趣のある環境は、学問の研究には理想的といえる。

1958年に創立され、敷地は67ha、現在19の学部があり、現代教育科学技術などの教育部門、48の専門学科(部)級や国家の科学研究プロジェクトを担当する18室の重点実験室、18の研究所がある。在校生は19600人で、外国人留学生は約230人。教育科学研究施設も完備しており、中でも多媒体語学実験室は、国内の大学の中でも一流の評価を受けている。40年にわたる豊富な教育のもと、5万人の卒業生を社会の各分野に輩出している。

平成18年度春季公開講座 総合テーマ「くすり」

平成18年5月20日から6月24日まで、毎土曜開催の本学春季公開講座の総合テーマが「くすり」——上手なつきあい方に決定しました。

私達の周りには薬が氾濫し、毎日何種類の薬を服用しても、不思議とは感じなくなっています。サプリメントなども普通になってきました。同時に、薬の誤用などによる被害も後を絶ちません。今日ほど、私達人ひとりが薬をよく知り、うまくつきあうことが必要とされる時代はありません。この講座では、薬のつきあい方を見直してみます。公開講座委員長 高木敬一(法学部教授)

講座の申込期間は、4月1日から10日まで。

講演する黒部館長



平成18年4月から

大学ホームページアドレス変更 www.agu.ac.jp

(旧) www.aichi-gakuin.ac.jp
(新) www.agu.ac.jp

昨年夏に行われた本学ホームページのリニューアルを契機とし、ホームページアドレス(URL)が、上記のとおり変更されます。

URLが短縮されたことにより、閲覧者のキー入力やアドレスの記憶が容易となります。また、AGUという略語を入試や広報媒体で多く使用しているため、それらと連動させることにより、より一層の広報および広告効果を引き出すことが期待されています。

新URLでの正式運用は4月からのスタートとなります。新アドレスへのブックマーク変更をお願いします。

広報委員会委員長 内藤 勲(経営学部教授)



学生ホール完成予想図

日進キャンパス 学生ホールの建設と 3号館耐震工事始まる

日進キャンパス第1食堂東に、かねてより学生諸君から要望があった学生ホールの建設工事が2月から開始され、工事完了は平成19年1月末日を予定。1・2階に約700席を有する学生ホールが新設され、授業の合間の居心地よい空間として、また、友人との語らいの場としてキャンパスライフを充実していただきたい。建物は地下1階が、クラブ活動の更衣室やシャワー室が完備され、1階にコンビニが移設される。2階は学生のニーズに合った軽食ラウンジもできる。また、1階東の野球場バックネット裏に、階段式ベンチも整備され、1・2階及び屋上のテラスからも、



3号館の耐震工事

野球やサッカー見物の他、広いキャンパスを一望できる。また、2月から新耐震基準に添った3号館の耐震工事も

キャリアアセスメントでは、学生就職支援の一環として、『就活アドバイザー制度』(11月から3月まで)を導入した。この『就活アドバイザー』は、就職活動期を迎え、不安や悩みを抱えている3年生に対し、就職決定した4年生が自分達の実体験に基づき、様々な相談など的確なアドバイスをするもので、先輩、後輩という安易さが好評を得ている。



後輩にアドバイスする
小久保君と藤原君

キャリアアセンター 「就活アドバイザー制度」導入 先輩が後輩に!!

内定獲得にあたり、キャリアアセンターの存在はなくてはならないものでした。私達、就職活動をする学生にとってのバックアップ体制が整っているだけでなく、温かい対応で接して頂ける職員の方々や多くの情報資料は強い見方であり本当に支えられました。その一環として、私が現在活動している、就活アドバイザー制度はパソコンや紙からでは得られない新しい生きた情報を就職活動全体を通してアドバイスするものであり、役立つ情報も多く、後輩にとっても力になると思います。少しでも、サポート出来ればと思っています。活動している中で、一人でも多くの学生が活用してくれることを望んでいます。



名港海運株式会社内定
法学部法律学科
小久保晃君



岐阜信用金庫内定
文学部国際文化学科
山田浩子さん



静岡県警察本部内定
法学部法律学科
藤原真一郎君

就職活動中、自分の進路について悩むことは沢山ありました。就職活動を始めたばかりの頃は、ただ焦燥感にかられ、提出書類一枚作成するにも考えがまとまらず頭を悩ませ、企業面接が始まれば緊張の連続で苦しい思いもしました。私が活動中に感じて来たこれら思いは、現在就職活動中の3年生の気持ちと同じだと思っています。お世話になった就職課職員の方々への恩返しの意味も込めて、3年生に対して、自分の行ってきた経験を交え、アドバイスをしています。彼らの抱える不安や、心のストレスを少しでも緩和できるように、また前向きな姿勢で就職活動に臨める様、微力ながら務めています。

就職活動

出陣式

1月31日、日進キャンパス百周年記念講堂で、就職活動を控えた3年生の学生約1,800人が集い「出陣式」が行われた。キャリアアセンター主催で行われた出陣式は、学生1人ひとりがこれからスタートする就職活動への決意を新たにするための行事である。式は、10時から寶多国弘キャリアアセンター部長、武藤明則就職委員会委員長の挨拶ではじまり、続いて、就職課職員から企業面接会・企業セミナーの説明ののち、本学課外活動

部員による和太鼓やチャリディングの実演、居合道の演武などのセレモニーが行われた。就職課職員他、教員では各学部から学部長をはじめ就職委員会の委員が壇上に上がり頭に鉢巻という出立ちで、3年生諸君の今後の就職活動にむけて教員も、職員も、学生も全学一丸となつて、拳を上げ大声で気合いを入れた。激しい就職戦線に乗り切るべく、改めて気持ちを引き締め、今年度の就職活動のスタートが切られた。

「第38回リーダーシップトレーニング」 大町セミナーハウスで2泊3日

2月22日から24日までの2泊3日の日程で、長野県大町セミナーハウスに於いて、各クラブ・サークルのリーダーを対象とした「第38回リーダーシップトレーニング」が、運動部48団体・文化部40団体の学生88名、指導助言の教職員16名、合計104名の参加により開催された。

開講式で黒神聴学生部長から「課外活動の意義」と題して基調講演があり、引き続き全体講習会では、「じぶん」を探そう！自我状態の把握を、高田心身科学部助教授からリーダーシップをとるために稲葉教養部教授、健康管理の必要性・課外活動中における健康管理、酒・タバコについてを北田教養部助教授から

また、各クラブを団体競技系、武道系、アウトドア系、個人競技系、研究発表系、音楽系、公演・資格取得系の7分野に分けた「系統別懇談会」では、学生自身による議事進行で「同系クラブがもっている運営上の問題点・解決策」として、目標設定・部員の確保・モチベーション向上など、幅広い範囲の話題について意見交換がなされた。

2日目の夜、コミュニケーションの場を設けた懇談会を行い、各クラブ間による情報交換・交流がなされた。

最終日の閉講式では、各系統別懇談会の代表学生による懇談内容の発表をし、稲葉教養部教授によって、総括講評で全行程を終了した。

今回研修に参加した各クラブの代表者には、今後の活動に於いて研修の成果を現してくることを切に願う。

基調講演中の黒神学生部長

春の海外語学研修 豪・ポンド大学研修終わる



異文化に触れ、約1か月の海外生活を通して実践的な語学力を身につけることを目的に実施された海外語学研修。春のコースは、オーストラリア・ポンド大学へ学生20名と引率者として、教養部教員ゲルト・マイケル・ビューレツシュ、学生課職員田島俊英の2名を含む22名が参加した。

一行は、2月4日に出発し、ゴールドコーストにあるポンド大学を訪問した。2月5日から24日までホームステイをしながらポンド大学で語学研修を行い、25日から27日までシドニーで自由研修を終え、28日全員無事に帰国した。

今回のオーストラリア語学研修で初めて1ヶ月も日本から離れるので、まるで想像がでなかった。初めは少しの不安、緊張、そして多くの期待を抱きながらオーストラリアへ向かった。現地でホームステイファミリーと生活し、家族同然のように接してくれ、とても優しくよく気を使ってくれたことで不安はなくなってきた。大学での授業は日本と非

常に違い、ゲームや会話が基本でとても楽しかった。生まれた国も年齢もさまざまな人がいて、それでも自分の英語が通じ会話ができ、友達になることができたことに感動した。間違えることを恐れるのではなく、間違えてもいい、挑戦することが大事なのだということが、下手な英語でも伝えようとするのが大事な研修で初めて1ヶ月も日本から離れたことを学ぶことができた。短い、本当に短い時間だったけれど、こんなに充実した時間は日本にいたら過ごすことができなかったと思う。オーストラリアの人達は皆優しく穏やかで、日本と違い過ぎていく時間はゆっくりとしたものだった。機会があればまた海外に行き英語の勉強をしたい。

異文化に触れ、約1か月の海外生活を通して実践的な語学力を身につけることを目的に実施された海外語学研修。春のコースは、オーストラリア・ポンド大学へ学生20名と引率者として、教養部教員ゲルト・マイケル・ビューレツシュ、学生課職員田島俊英の2名を含む22名が参加した。

一行は、2月4日に出発し、ゴールドコーストにあるポンド大学を訪問した。2月5日から24日までホームステイをしながらポンド大学で語学研修を行い、25日から27日までシドニーで自由研修を終え、28日全員無事に帰国した。

学位記授与式商学科表彰者 市野初芳ゼミが独占

FDの重要性への認識が高まり、本学でもFD委員会(委員長長藤勇夫商学部教授)を設置し、全学挙げての組織的な取り組みを行っており、「わかり易い授業」をスローガンに教育力の向上に議論を重ねてきた。こうした教育活動が問われる中、このたび、学位記授与式において表彰される、曹洞宗管長賞、初代学長小出有三賞及び学長賞(2名)の商学部商学科受賞者全員が、市野初芳(商学部助教)ゼミから選出され注目を集めた。受賞した4人の学生諸君の能力・努力も然ることながら、市野助教の教育に対する熱意の結果が今回の表彰に繋がったともいえる。市野助教から4名の受賞者にお祝いの言葉をいただいた。

卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。卒業式では、私の担当するゼミナールの学生4名が、商学部商学科の成績優秀者として表彰されることとなりました。受賞者は、管長賞・鬼頭卓生君、初代学長小出有三賞・陳旖旎さん、学長賞近藤拓弥君、糸魚川裕之君です。この受賞は、四年間の絶え間ない努力により自らの手でつかんだ栄誉であるとともに、商学部の先生方の熱心な指導の賜物と感謝しております。

ゼミでは、多くのレポートや宿題が課せられ、学生の皆さんにとっては大変な2年間だったと思いますが、自由な雰囲気の中で互いに切磋琢磨する良い環境ができていたものと思います。

卒業後は、この経験を糧に社会で活躍されることを期待します。商学部 市野初芳

特別賞

学位記授与式

ゴルフ部 高山準平君



平成14年入学以来、数ある大会で優秀な成績を残し、母校の名を高めたとして、ゴルフ部高山準平君(法律学科)に、学位記授与式で特別賞の授与が決定した。

平成17年度成績

- ・中日クラウンズ ベストアマチュア
- ・東海テレビ杯中部学生選手権優勝
- ・日本アマチュア選手権 ベスト16
- ・日米大学ゴルフ選手権 日本代表
- ・日本学生ゴルフ選手権競技 第2位
- ・朝日杯争奪日本学生選手権 優勝

サッカー部 横山監督勇退



横山孝治サッカー部監督が平成18年2月、世代交替を理由に勇退した。横山監督は今後総監督として、永年の経験を生かしサッカー部の発展につとめる。

昭和44年早稲田大学を卒業後、日本サッカーリーグで活躍し、昭和52年本学サッカー部コーチに就任、昭和57年に監督となり、東海大学サッカーリーグで優勝9回、全日本大学サッカー選手権大会に出場10回(3位1回)、東海大学サッカー選手権大会優勝11回、天皇杯出場6回(3回戦進出1回)、など本学サッカー部の発展に大きな功績を残した。また、OBの活躍も目ざましく、境田雅章、松永成立など元日本代表選手の他、現役では岡村恵久男(横浜F・マリノス)、秋田 豊(名古屋グ



境田新監督

ランパスエイト)、吉村圭司(名古屋グランパスエイト)、など日本リーグ及びJリーグに約30人が入団している。真黒に日焼けした顔に永年の苦労がうかがえる。横山監督お疲れさまでした。

道元禪師のこゝろ

玉は琢磨によりて器となる。人は練磨によりて仁となる。何の玉かはじめより光有る。誰か初心より利なる。必ずみがくべし。すべからく練るべし。

『正法眼蔵随聞記』にあることばで、学道する人の心構えを説いている。「玉は磨かれ、磨いてこそ初めて立派な器となる。人は鍛え鍛えぬいて立派な人となる。初めから光のある玉もなければ、初めからすぐれた働きのある人もあるわけではない。必ず切磋せよ。ぜひとも練磨せよ」というのである。

しかし、これは学道の人だけに説かれるものではない。現代の私たちにも教えられることばである。問断なき努力、不断の精進が大切であることを説いている。一つのことを全うするのには、一気にはやろうとしても容易にはできない。少しずつでもよい。毎日毎日くり返し努力していくことが大切である。それは千里の道も一歩から始まることと同じである。最初の一步も千歩目の一步も歩みの第一歩であることに変わりはなく、これは学道の人だけに説かれるものではない。

石の上に落ちるわずかな水滴でも、長い年月によっていつかはその石に穴をあけることができる。絶えることのない精進は大きな力、エネルギーとなって必ず大成することを見せている。永遠なる志を持ち続け、絶えることのない無限の精進をせよと道元禪師は説くのである。

教養部 川口高風

平成17年度卒業生の主な業種別就職先一覧(2月25日現在)

総合工事業		平成17年度卒業生の主な業種別就職先一覧(2月25日現在)		なごや農業協同組合 清水市農業協同組合	
積水ハウス㈱	一般機械器具製造業	トランコム㈱	中部キャタピラー三菱建機販売㈱	飲食料品小売業	桑名信用金庫
大和ハウス工業㈱	N T N ㈱	下関海陸運送㈱	トーヨータイヤ中部販売㈱	㈱ヤマナカ	北伊勢信用金庫
レオパレス21	オークマ㈱	カリッソー㈱	リコー中部㈱	マックスバリュ中部㈱	豊田信用金庫
㈱熊谷組	大和冷機工業㈱	水運業	㈱八神製作所	㈱パロー	西尾信用金庫
東建コーポレーション㈱	大隈豊和機械㈱	㈱フジトランスコーポレーション	日立電線商事㈱	㈱アオキスーパー	豊橋商工信用組合
ミサワホーム東海㈱	富士精工㈱	エバーグリーンジャパン㈱	住友商事マシネックス中部㈱	㈱ジェイアール東海バスセンター	西濃信用金庫
スウェーデンハウス㈱	黒田精工㈱	航空運輸業	協和医科器械㈱	㈱フィールコーポレーション	掛川信用金庫
名古屋セキスイハイム㈱	浜名湖電装㈱	日本通運㈱国際輸送事業部	㈱中外	㈱ピュア	尾西信用金庫
㈱オーテック	㈱イワキ	倉庫業	明治電機工業㈱	自動車・自転車小売業	豊橋信用金庫
セキスイハイム東海㈱	ゼネラルパッカー㈱	横浜冷凍㈱	サンコー商事㈱	愛知トヨタ自動車㈱	愛知信用金庫
グッドリビング㈱	日本システムバンク㈱	東陽倉庫㈱	ヨコハマタイヤ中部販売㈱	㈱レッドバロン	高岡信用金庫
富士ハウス㈱	松山㈱Niplo	濃飛倉庫運輸㈱	日産部品東海販売㈱	名古屋トヨペット㈱	中日信用金庫
職別工事業(設備工事業を除く)	電気機械器具製造業	豊通物流㈱	轟産業㈱	三重トヨタ自動車㈱	飛騨信用組合
ホームテック㈱	富士通㈱	運輸に附帯するサービス業	ホンダ部品販売㈱	岐阜トヨタ自動車㈱	幡多信用金庫
設備工事業	朝日レントゲン工業㈱	㈱上組	ケイティケイ㈱	家具・じゅう器・機械器具小売業	三河信用組合
㈱トーエネック	電子部品・デバイス製造業	名港海運㈱	㈱シーアイエス	㈱エイデン	貸金業・投資業等非預金信用機関
日本電話施設㈱	輸送用機械器具製造業	伊勢湾海運㈱	シミツ産業㈱	㈱ニトリ	㈱ユニファイナンス
㈱シーテック	本田技研工業㈱	鈴与㈱	トヨタ部品愛知共販㈱	㈱カーマ	㈱オーエムシーカード
食料品製造業	豊田合成㈱	五洋海運㈱	トヨタ部品静岡共販㈱	㈱カインズ	証券業・商品先物取引業
明治製菓㈱	㈱東海理化電機製作所	各種商品卸売業	大阪ゼロックス㈱	㈱ギガス	東海東京証券㈱
カネ美食品㈱	フタバ産業㈱	㈱ニッセン	中央工機㈱	㈱ミドリ電化	S M B C フレンド証券㈱
敷島製パン㈱	大豊工業㈱	興和㈱	デュプロ販売㈱	㈱エスケーアイ	野村證券㈱
ビー・アール・サティワン・アイスクリーム㈱	テイ・エステック㈱	田村駒㈱	その他の卸売業	㈱テレウェイヴ	岡三証券㈱
日本食研㈱	八千代工業㈱	名鉄協商㈱	美津濃㈱	㈱アビックグループ	丸八証券㈱
コニシ㈱	武蔵精密工業㈱	繊維・衣服等卸売業	㈱ズケン	その他の小売業	アーク証券㈱
九重味醂㈱	豊田鉄工㈱	イギン㈱	Y K K A P ㈱	㈱三城	豊証券㈱
ヤマサちくわ㈱	愛知機器㈱	ジャパンライフ㈱	昭光通商㈱	愛眼㈱	安藤証券㈱
飲料・たばこ・飼料製造業	小島プレス工業㈱	サンラーグループ	㈱オリバー	㈱スギ薬局	木村証券㈱
㈱伊藤園	林テレンプ㈱	ラブリークイーン㈱	アルフレッサ㈱	㈱キャンドウ	補助的金融業・金融附帯業
家具・装備品製造業	東明工業㈱	エルメスジャパン㈱	花王販売㈱	サンリン㈱	愛知県信用保証協会
タカラスタンダード㈱	精密機械器具製造業	榎本㈱	ミドリ安全㈱	ブリモ・ジャパン㈱	【保険業(保険媒介代理業、保険サービス)】
クリナップ㈱	㈱ジーシー	飲食料品卸売業	㈱柿本商会	㈱エフ・ディ・シー・プロダクツ	日本生命保険相互会社
パレプ・紙・紙加工品製造業	㈱トヨタマックス	㈱菱食	シーエス薬品㈱	㈱日本オプティカル	明治安田生命保険相互会社
㈱トーモク	その他の製造業	㈱ガリバーインターナショナル	中北薬品㈱	㈱ビジョンメガネ	第一生命保険相互会社
ナカバヤシ㈱	筒中プラスチック工業㈱	高瀬物産㈱	㈱ヴァンドームヤマダ	中部薬品㈱	あいおい損害保険㈱
東海紙器㈱	山崎産業㈱	伊藤忠食品㈱	明洋㈱	アイジャパン㈱	愛知県共済生活協同組合
印刷・同梱連業	山崎産業㈱	中日本フード㈱	㈱アイケイ	㈱三交クリエイティブ・ライフ	不動産取引業
竹田印刷㈱	ガス業	東海食品㈱	豊通エネルギー㈱	花王化粧品販売㈱	㈱エイブル
笹徳印刷㈱	山口合同ガス㈱	名古屋青果㈱	トヨハシ種苗㈱	㈱一光	宝グループ統括宝交通㈱
富士特殊紙業㈱	通信業	中部食糧㈱	㈱植屋	朝日ガス㈱	東新住建㈱(東新住建グループ)
㈱シイエム・シイ	㈱光通信	建築材料・鉱物・金属材料等卸売業	㈱ブリヂストン I P G	銀行業	岐阜セキスイハイム㈱
佐川印刷㈱	中部テレコミュニケーション㈱	㈱ザ・トーカイ	㈱藤栄	㈱りそな銀行	イワクラゴールデンホーム㈱
化学工場	㈱アイ・イーグループ	㈱カノクス	ゴムノイナキ㈱	㈱北陸銀行	不動産賃貸業・管理業
萬有製薬㈱	放送業	渡辺パイプ㈱	各種商品小売業	㈱十六銀行	㈱ジェイ・エス・ビー
アルフレッサファーマ㈱	中部ケーブルネットワーク㈱	㈱進和	㈱三越	㈱中京銀行	一般飲食店
サカタインクス㈱	㈱ケーブルメディア四国	森定興商㈱	㈱ファミリーマート	㈱名古屋銀行	㈱木曽路
コニシ㈱	㈱アイティービー	明鋼材㈱	ユニー㈱	㈱大垣共立銀行	㈱ロッテリア
マックスファクター㈱	情報サービス業	東郷産業㈱	㈱ペルーナ	㈱岐阜銀行	日本マクドナルド㈱
㈱アラクス	ソフトウェア興業㈱	㈱プロスチール	㈱ユーストア	㈱愛知銀行	タニザワフーズ㈱
石油製品・石炭製品製造業	㈱中電シーティーアイ	㈱ワイ・ヨット	㈱コメ兵	㈱三重銀行	㈱ワイズテンプルコーポレーション
出光興産㈱	日本電子計算㈱	機械器具卸売業	㈱義津屋	協同組織金融業	宿泊業
ユシロ化学工業㈱	住友電装コンピュータシステム㈱	㈱ハロマ	㈱清水屋	岐阜信用金庫	㈱ジェイアール東海ホテルズ
【プラスチック製品製造業(別掲を除く)】	ディップ㈱	㈱大塚商会	㈱ツルヤ	東海労働金庫	リゾートラ・ス・オ
三誘グループ	㈱第一コンピュータリソース	フィールズ㈱	㈱ヤナゲン	岡崎信用金庫	㈱名古屋観光ホテル
ゴム製品製造業	映像・音声・文字情報制作業	㈱カナデン	織物・衣服・身の回り品小売業	静岡県労働金庫	遠鉄観光開発㈱
マルヤス工業㈱	㈱プロトコーポレーション	岐阜日野自動車㈱	青山商事㈱	呉信用金庫	㈱名古屋東急ホテル
窯業・土石製品製造業	新日本法規出版㈱	日本ビジネスコンピューター㈱	㈱さが美	東濃信用金庫	医療業
㈱鶴弥	鉄道業	㈱フォーバル	㈱リオ横山	いちい信用金庫	医療法人大明会 刈谷整形外科病院
㈱ユニソン	東海旅客鉄道㈱	㈱ドッドウエルビー・エム・エス	はるやま商事㈱	三重信用金庫	医療法人豊岡会 岡崎三田病院
中川ヒューム管工業㈱	名古屋鉄道㈱	杉本商事㈱	藤久㈱	豊川信用金庫	医療法人 同心会 杉田病院
鉄鋼業	日本通運㈱	㈱NaITO	㈱ワークマン	瀬戸信用金庫	社会保険・社会福祉・介護事業
中部鋼板㈱	道路貨物運送業	リックス㈱	㈱マックハウス	碧海信用金庫	社会福祉法人八事福祉会
㈱岡島パイプ製作所	西濃運輸㈱	㈱守谷商会	㈱ライトオン	磐田信用金庫	学校教育
金属製品製造業	トナミ運輸㈱	㈱トーション	㈱レリアン	焼津信用金庫	愛知総合看護福祉専門学校
中央発條㈱	佐川急便㈱	㈱O S Gコーポレーション	㈱ほていや	浜松信用金庫	学校法人愛知学院
リンナイ㈱	濃飛西濃運輸㈱	㈱カワサキモータースジャパン	㈱上野商会	浦郡信用金庫	学校法人中京女子大学
東海プレス工業㈱	日本ロジテム㈱	㈱ダイドー	㈱パレモ	東春信用金庫	協同組合(他に分類されないもの)
三重重工業㈱	㈱エスラインギフ	㈱東陽		知多信用金庫	岐阜県信用農業協同組合連合会

平成18年度から 授業と試験の時間帯変更のお知らせ

平成18年度春学期から、授業および試験の時間が下表のとおり変更になります。
全学部共通にて1限目の開始時間を9時30分からとし、90分授業・10分休憩・昼休み50分という授業時間帯といたしました。
また、試験時間帯は、全学部共通にて1限目の開始時間を授業開始時間と同じ、9時30分からとし、60分試験・20分休憩・昼休み50分という試験時間帯に決定しましたので、ご通知いたします。

《 授業時間帯 》

全学部共通					
1 時限 9:30-11:00	2 時限 11:10-12:40	昼休み 50分	3 時限 13:30-15:00	4 時限 15:10-16:40	5 時限 16:50-18:20

《 試験時間帯 》

全学部共通						
1 時限	2 時限	昼休み	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
9:30-10:30	10:50-11:50	50分	12:40-13:40	14:00-15:00	15:20-16:20	16:40-17:40

学校債(償還期日・2006年5月1日) 償還(返金)のお知らせ

対象
入学時に学校債に応募され、償還期日が2006年5月1日の「借入証書」をお持ちの方
①4月中旬に詳しい手続きの案内を郵送致しますので案内に従って手続きをおとり下さい。
②2006年5月1日以降に「借入証書」の記載金額を償還(返金)致します。
※「借入証書」はご応募の際に「書留」で郵送致しておりますのでご確認ください。
※万一「借入証書」を紛失されている場合は、右記とは別の手続にて2006年7月中旬より償還(返金)致します。
※歯学部に入學し、応募された方は借入期間が10年ですので「借入証書」の償還期日をご確認下さい。該当する償還年の4月中旬に案内を郵送致します。

問合せ先
〒464-1865
名古屋市中千種区楠元町1-100
愛知学院 財政部 主計課
TEL(052)751-2561 内線1229・1230